

植物の育ちと成長

まとめプリント

重要語一覧 ホウセンカ ヒマワリ まき方 子葉 本葉 発芽 根 茎 葉 つぼみ 花 実

学ぶべきこと

Lesson 01 種をまく

重要語：ホウセンカ | ヒマワリ | まき方

- 小さな種（ホウセンカなど）はどうやってまくか。
- 土に浅い穴をあけ、種をまいて、うすく土をかぶせる。深く埋めすぎると芽が出ない。
- 大きな種（ヒマワリなど）はどうやってまくか。
- 指の第一関節くらいの深さの穴に1つずつ入れ、土をかぶせる。

まとめ：小さな種は浅く、大きな種はやや深く。土をかぶせすぎないことが大切。

Lesson 02 芽が出る — 子葉

重要語：子葉 | 本葉 | 発芽

- 種から最初に出てくる葉を何というか。
- 「子葉（しょう）」という。種の中にすでに用意されている葉である。
- 子葉のあとに出てくる葉を何というか。
- 「本葉（ほんよう）」という。本葉は子葉とちがった形をしていることが多い。

まとめ：最初に出るのは「子葉」、そのあとに本来の形の「本葉」が出る。

Lesson 03 植物の体は3つの部分に分かれる

重要語：根 | 茎 | 葉

- 植物の体の3つの部分を、上から順に挙げよ。
- 上から「葉」「茎」「根」の3つに分かれる。
- それぞれのはたらきを答えよ。
- 葉は栄養を作る、茎は体を支え水を運ぶ、根は土から水や養分を吸い上げて体を支える。

まとめ：植物の体は「葉・茎・根」の3部分。それぞれ役割がちがう。

Lesson 04 花がさいて実ができる

重要語：つぼみ | 花 | 実

- 花がさく前の小さなふくらみを何というか。
- 「つぼみ」という。やがて開いて花になる。
- 花がしぼんだあとはどうなるか。
- おしべの花粉がめしべについて受粉が成立すると、子房がふくらんで「実」になる。実の中には次の世代の「種」が入っている。

まとめ：つぼみ → 花 → 実 → 種。次の世代を残すための流れである。

寄り道コラム

Lesson 01 一年で枯れる植物・残る植物

重要語：一年草 | 多年草

- ヒマワリやホウセンカのように、1年で枯れてしまう植物を何というか。
- 「一年草」という。種を残して命を終える。
- サクラやチューリップのように、何年も生きる植物を何というか。
- 「多年草」という。地下に養分をたくわえ、毎年花を咲かせる。

まとめ：1年で枯れるのが一年草、毎年生きるのが多年草。